

日本AX：バーティカルとフィジカルが拓くAI国家戦略

汎用LLM競争からの脱却と、独自の「勝ち筋」を描く国家インフラの青写真

国家の生存戦略：汎用LLM競争から「現場力」の統合へ

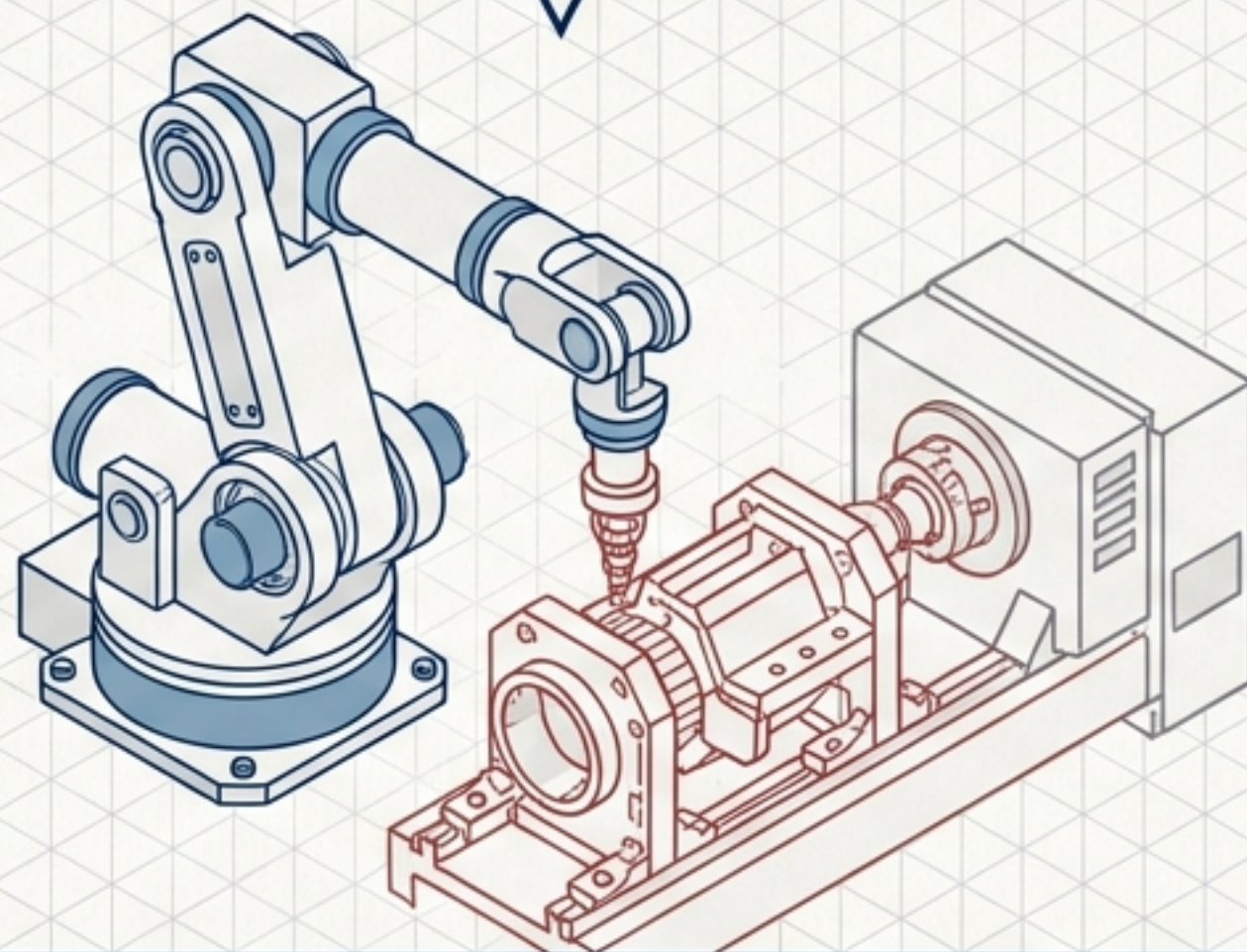
米中のアプローチ（資本力×汎用AI）

圧倒的な資本力による大規模言語モデル（LLM）の基盤開発競争。



日本の勝ち筋（高市内閣が推進する「日本AX」）

日本独自の強みである「過酷で複雑な現実環境（現場力）」と「優れたハードウェア技術」の掛け合わせによる差別化。



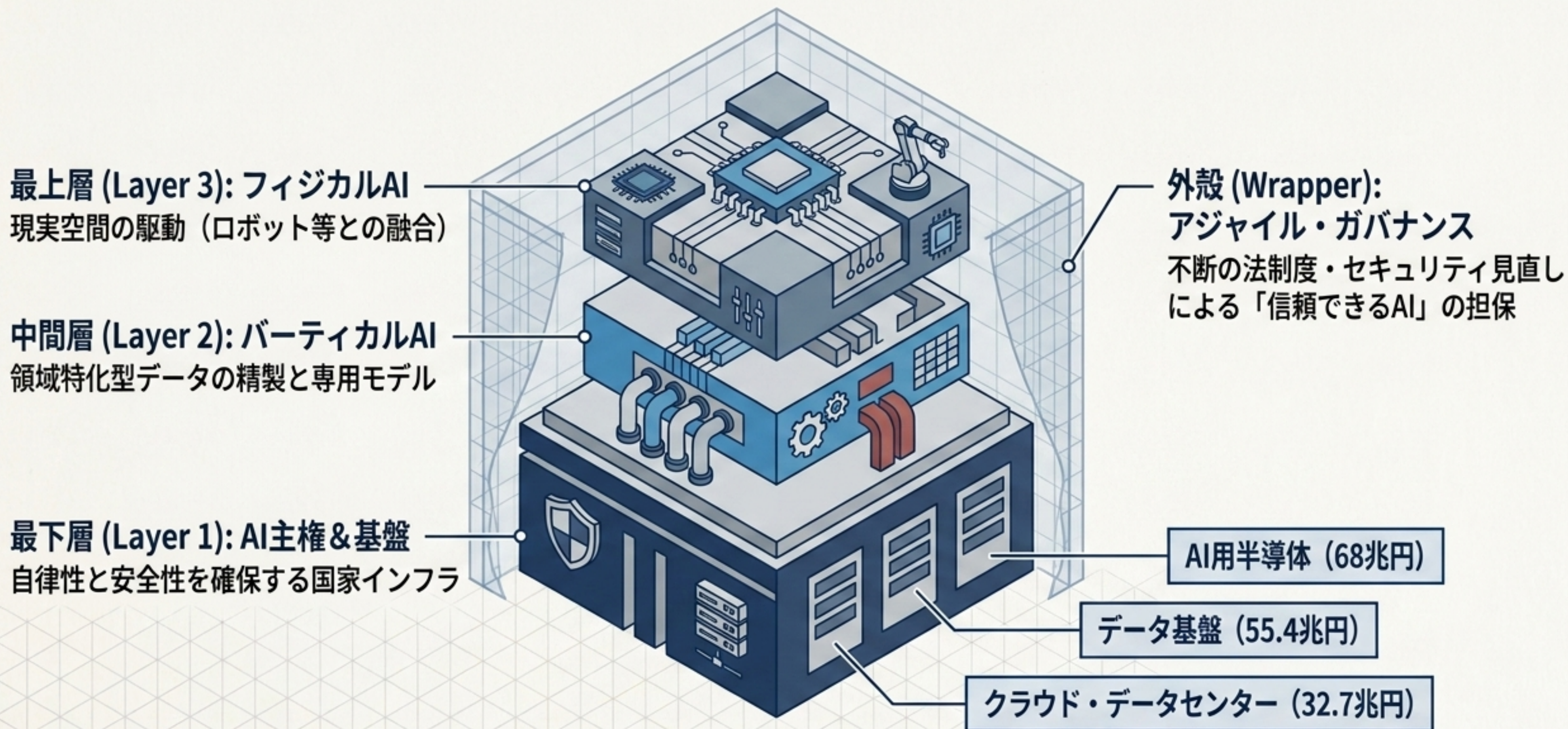
Strategic Pivot

「ビッグデータ×AI」を現実世界に介入させることで、世界に先駆ける極めて合理的な生存戦略。

日本AXを牽引する「2つの最重要戦略」

	バーティカルAI	フィジカルAI
定義 (Definition)	特定の産業・業務領域に特化し、独自のデータ、モデル、アプリを垂直統合したシステム。	サイバー空間のAIが物理世界を理解し、ロボット等のデバイスを通じて自律的に介入する技術。
日本の絶対的優位性 (Japan's Edge)	現場に存在する「暗黙知」と「良質な現場データ」の集積。	高度な製造現場、災害対応、廃炉など過酷な環境データとハードウェア技術の融合。
官民投資規模 (2040 Investment Target)	23.1兆円	10.5兆円

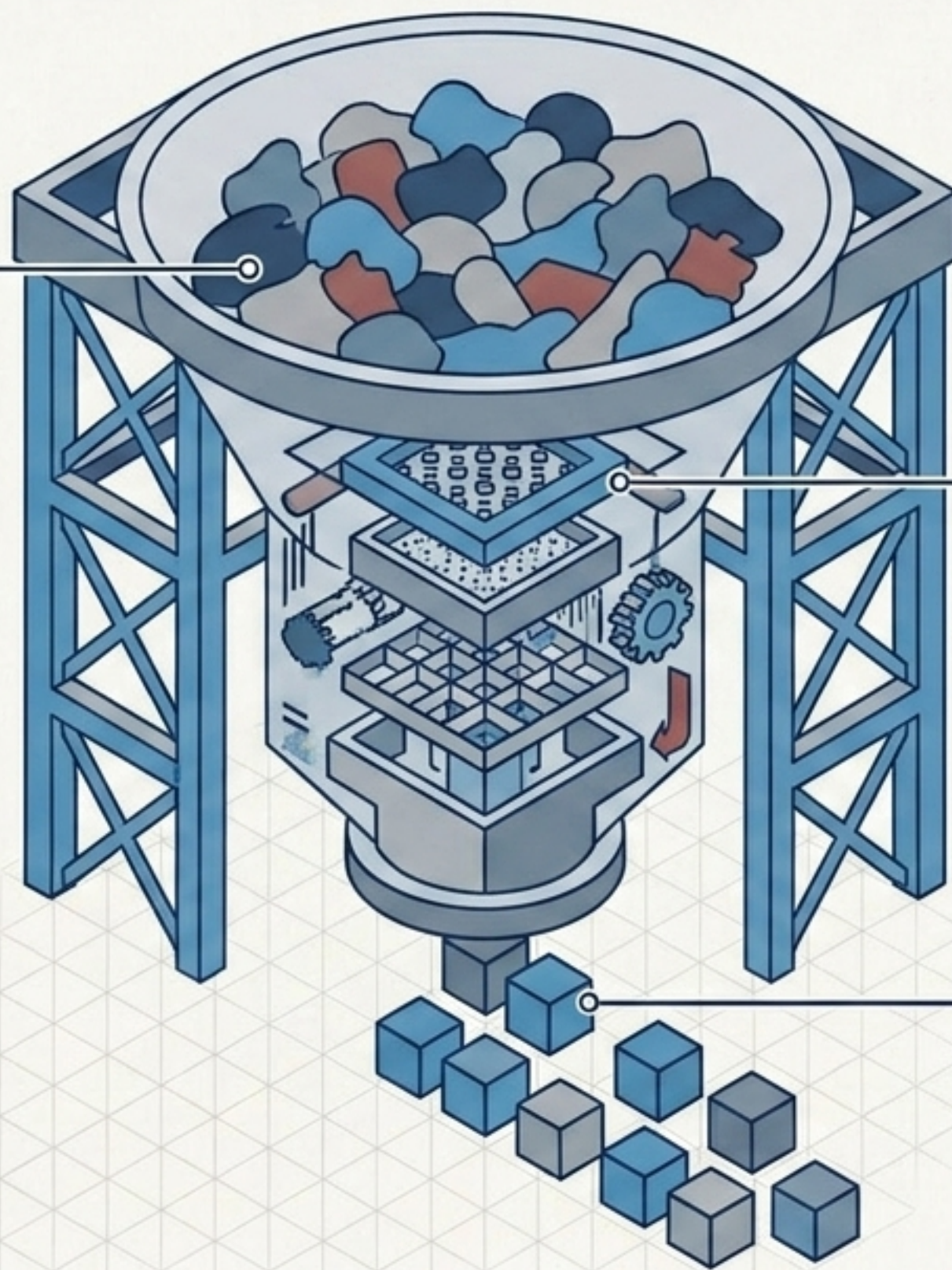
日本AX 全体アーキテクチャ：インフラから物理空間への階層的統合



バーティカルAI：「暗黙知」を競争力へ変換する精製プロセス

Input（源泉）

日本の現場に眠る「暗黙知（経験・知識）」と「良質な現場データ」。



Refinement（精製）

汎用モデルに依存せず、特化領域における独自データの垂直統合。

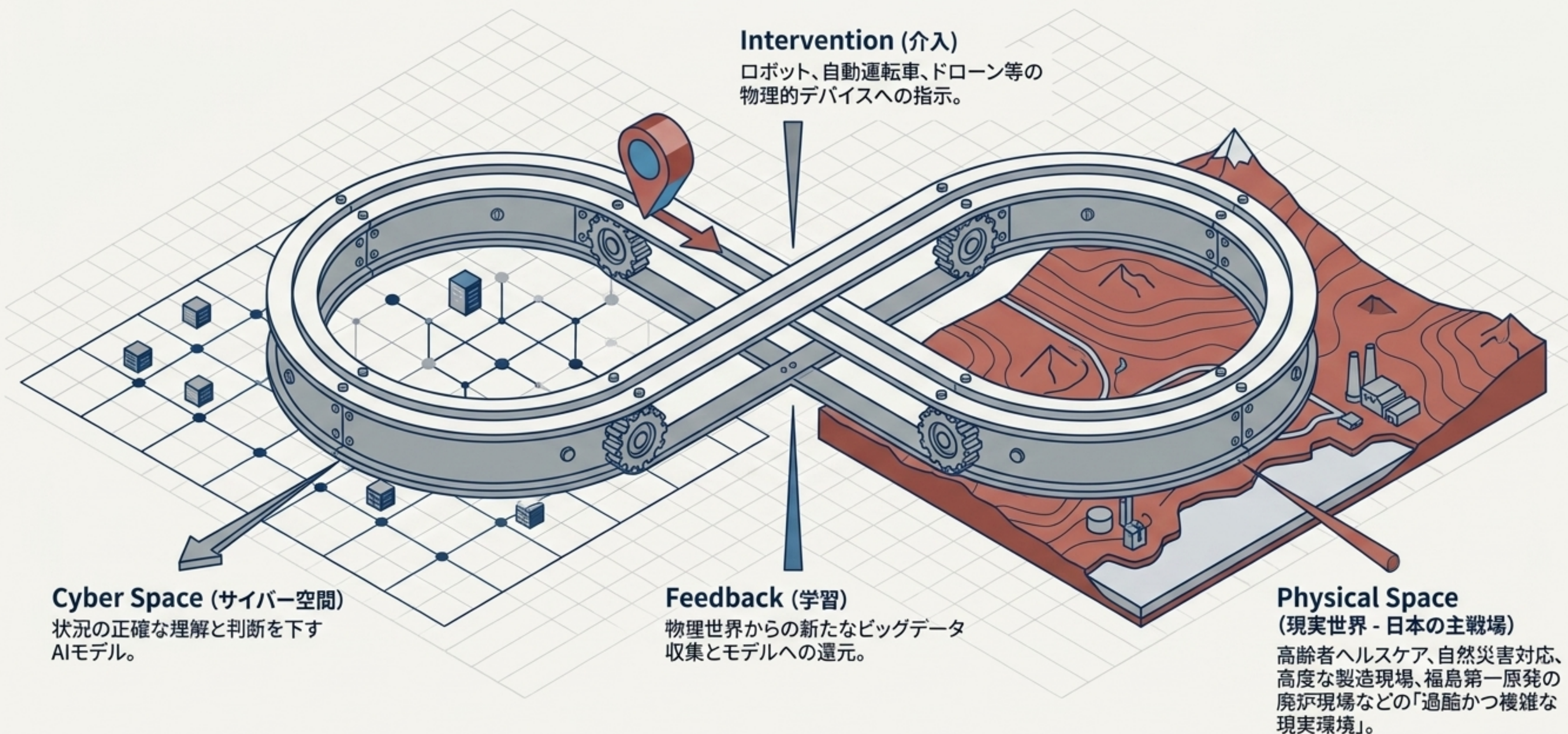
Output（実装）

圧倒的な精度を誇る特定の産業・業務向け独自のAIモデルとアプリケーション。

官民リソースを集中投下する「19の重点領域」

 市場性を有する領域 (Marketability)	 公共性のある領域 (Public Goods)	 戦略性のある領域 (Strategic Value)
製造 造船 物流・交通 情報通信 金融 創薬	医療・介護・福祉 農林水産 建設 教育 行政 エネルギー	防衛 警察 防災 消防 サイバー 海洋 宇宙 科学研究 (AI for Science)

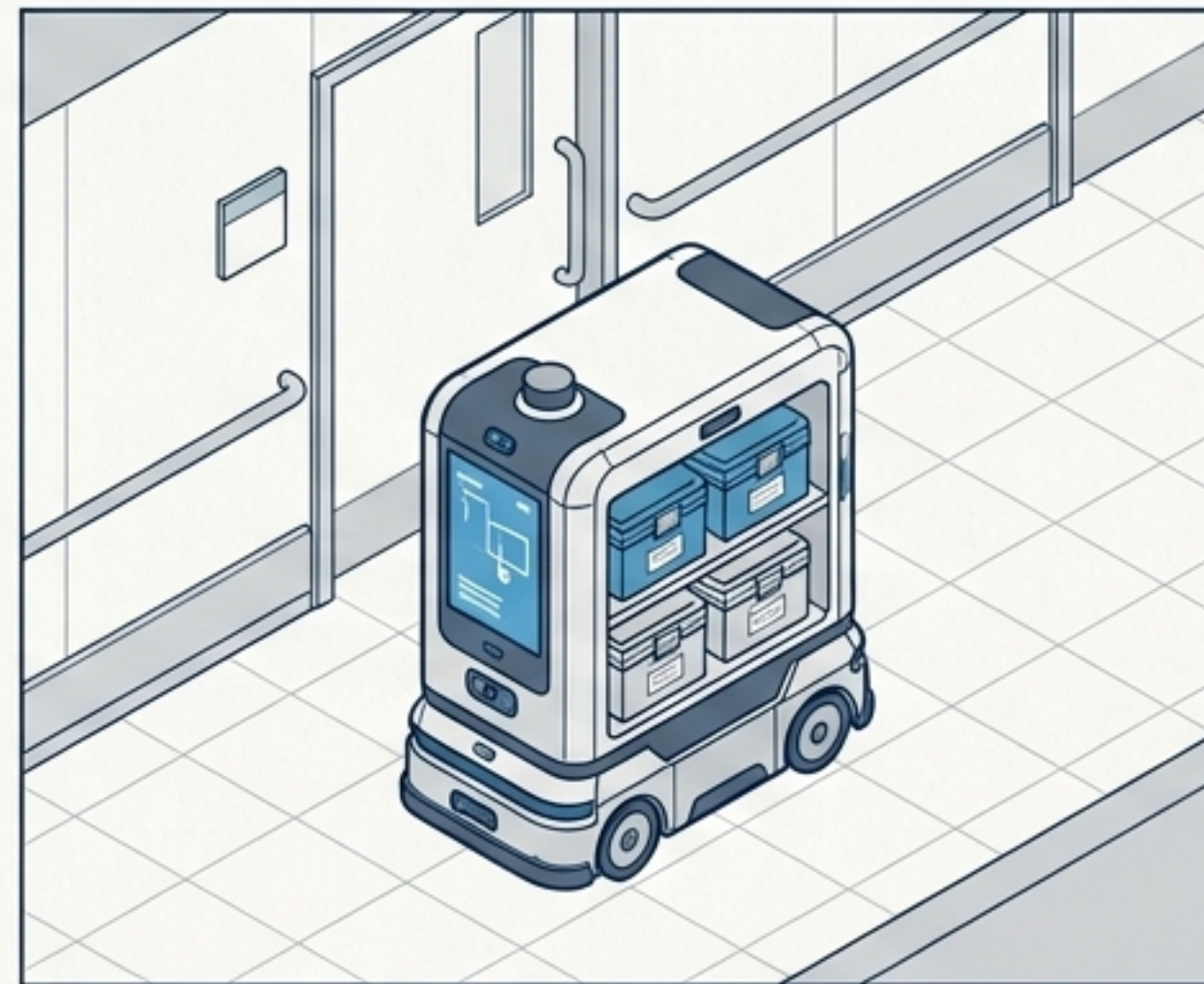
フィジカルAI：サイバー空間から複雑な現実世界への介入



2040年ビジョン：1000万台のAIロボット社会実装

圧倒的なスケール

2040年までに飲食業、食品加工、医療など18分野において、約1000万台のAIロボット導入という野心的な目標。

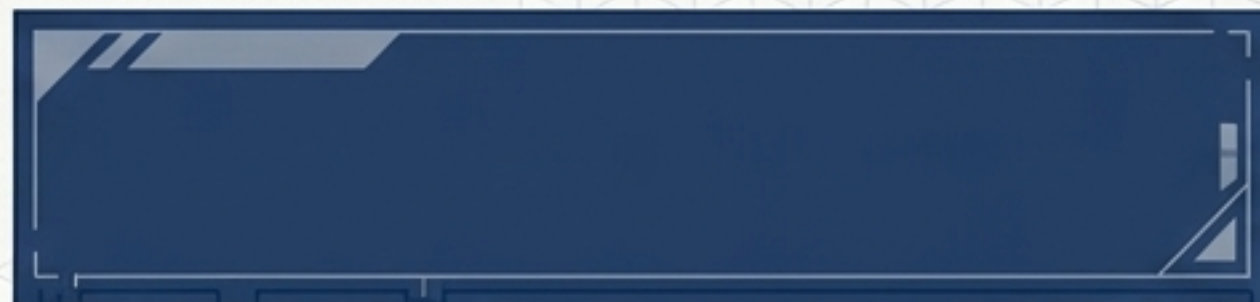


実社会での稼働事例（愛知県）

すでに地方の医療現場において、薬剤や検体の搬送を自律的に担う走行ロボット「AMUA（アムア）」の本格導入が開始。机上の空論ではなく、実装フェーズへ移行済み。

2040年までの資本投下ロードマップ（総額 約189兆円規模）

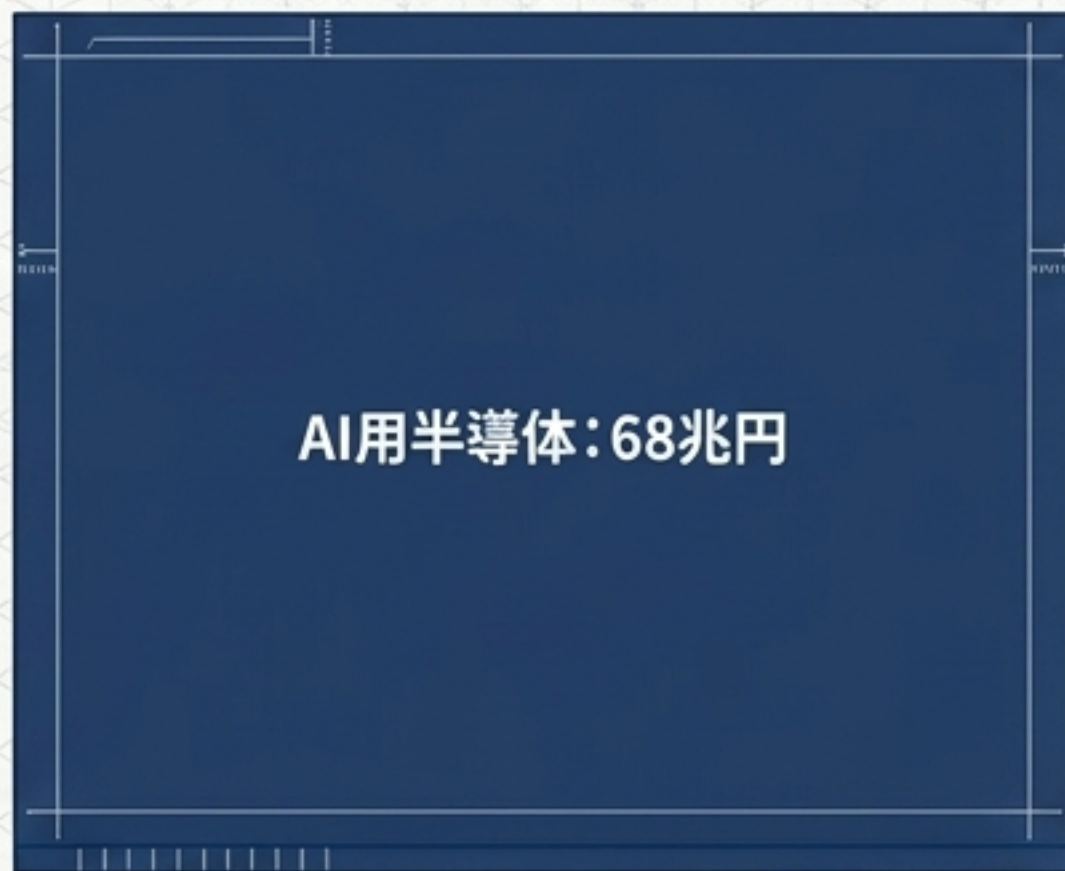
アプリケーション・
実装投資



バーティカルAI:
23.1兆円

フィジカルAI:
10.5兆円

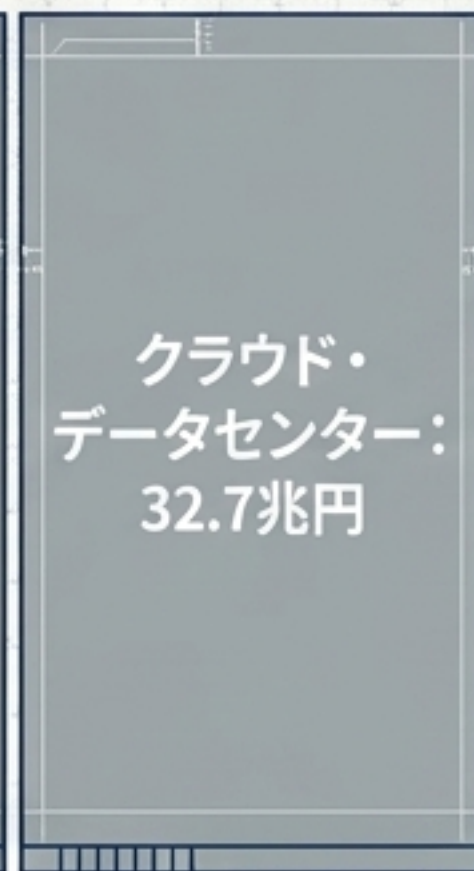
最下層インフラ投資



AI用半導体:68兆円



データ基盤:55.4兆円



クラウド・
データセンター:
32.7兆円

これら巨額の官民投資が、
「日本AX」の確固たる実現を裏付ける。